

請願

学校給食費の無償化を 求める請願

提出者

「学校給食費の無償化を求
める吉川連絡会」

代表 渡邊 勝徳

他1201名

紹介議員

遠藤 義法 議員

飯島 正義 議員

【要旨】

吉川市立小中学校に通う児童生徒の給食費を無償にしてください。

国や県に対して、小中学校等の給食費を無償化するよう働きかけてください。

【理由】

物価の高騰が私たちの暮らしを直撃しています。特に所得の少ない子育て世代への影響は深刻です。「お米さえ買えない」という声も寄せられています。すべての子どもが一日3回の食事を摂り、健やかに発育・発達できる

ように保障することがいま求められています。学校給食費を無償にすることは、今すぐにもできる子育てへの直接支援だと考えます。

少子化がいよいよ深刻な状況になってきました。その原因は複雑で決して一つではありませんが、非正規雇用や奨学金返済などにより、子育て世代は極めて厳しい経済状況にあります。日本の子育ては特に教育費の負担が大きく、若者が結婚や出産をためらう大きな要素の一つと言われています。学校給食費を無償化して保護者の経済的負担を軽減することは、大きな意義をもつものだと考えます。

憲法26条は「教育の無償」と掲げています。また学校給食法第一条は「学校給食は食育である」と定めています。第二条、学校給食の目標に「環境の保全に寄与する態度を養う」「勤労を重んずる態度を養う」「伝統的食文化への理解」等が盛り込まれ、食育としての役割は非常に大きくなっています。こうした状況に鑑み、小中学校に通う児童生徒の給食費を無償にすることと国や県に対して小中学校等の給食費を無償化するように働きかけることが大切なことと考えます。

本請願は、付託された文教福祉常任委員会で趣旨採択※が提案され、賛成多数で「趣旨採択」と決定しました。

【提案理由】

市単費による学校給食費無償化は財源の確保、持続可能性、質の担保といった観点から実現困難と考えるため、本請願を趣旨採択することを提案します。



本会議では趣旨採択に対して、3名が討論を行いました。

— 反対討論 —

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

請願は市に対し給食費無償化を求めるとともに、国や県にも働きかけるよう求めている。市の単費での恒久的な無償化だけを求めているのではない。無償化は今、全国491自治体に広がった。子育て支援にどれだけ予算を組むか、市の姿勢にかかっている。

— 賛成討論 —

公明党吉川市議員

小野 潔 議員

無償化に伴う市の新たな財源措置は約3億3千万円が必要となる。給食センター運営維持費8億3千万円、公費負担額5億円、財政上難しい。公明党として国会議員へ既に伝えさせていただいた。国で議論を重ねてほしい。よって趣旨採択に賛成する。

未来会議よしかわ

林 美希 議員

給食費無償化の自治体数を挙げられていたが、その数字は限定的に実施している自治体も含まれている。国の臨時交付金が見え、実施自治体数の評価は今後の動きを見る必要があると考える。請願者の願いを汲み、趣旨採択に賛成とする。

賛成多数で趣旨採択

用語解説 ※趣旨採択とは？

願意は妥当だが、実現性の面で確信が持てない場合に、不採択とすることもできない請願に対して採る決定の方法。